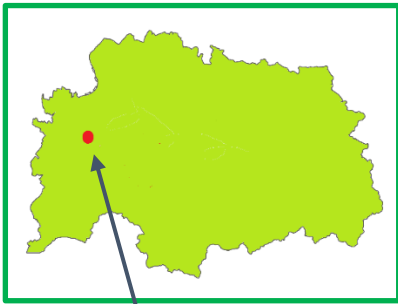


地域への愛着をもち、文化を継承していく子供を育てよう

学校の紹介



愛知県のほぼ中央
岡崎市の中西部



岡崎市立愛宕小学校

児童数 175名 実家庭数 (136)

職員数 16名

毎年全校で写真を撮影。パネルにして卒業まで飾られています。



学校の自慢
全校で遊べる人工芝の中庭

毎年 収穫を楽しむ夏みかん

愛宕のころ

あたたかいころ

たのしむころ

ごまかさないころ

【研究の仮説と手だて】

【仮説】保護者が子供たちとともに、地域の活動に積極的に参加し、地域とともに活動する機会を増やしていけば、地域への理解が深まり、愛着をもつようになるだろう。また、地域が大切にしてきた行事に関わることで、世代をこえたつながりが強くなり、地域の人や文化を大切にすることが育つだろう。

●手だて1 学区ふれあい運動会への参加 ～PTAが学区の運動会を盛り上げていこう～



ボランティア草取り

3年ぶりの学区の運動会を、気持ちよく迎えるために、保護者と児童で運動会前の約1週間、毎朝実施。延べ130人の保護者が参加した。運動会に向けて、子供たちの気持ちも高まった。

新種目として「学年対抗PTA綱引き」が実施され、どの学年も保護者が積極的に参加した。白熱した勝負に、会場から大きな声援がとんだ。また、感染対策を講じた競技を、PTAから提案。地域が一体となって久しぶりの運動会を楽しんだ。



学年対抗綱引き

●手だて2 学区文化祭への参加 ～PTAが学区の文化を子供たちと一緒に継承しよう～



毎年11月に行われる学区文化祭は今年で47回目となり、地域も学校も大切にしている行事のひとつである。昨年よりPTA主催の趣味講座を文化祭に合わせて実施することとし、出来上がった作品を展示している。今年度も25組が参加した。親子で取り組んだ色とりどりの作品は来場した地域の方々の目を楽しませた。またその他にも、共同イベント企画、運営への協力など様々な形で文化祭の実施に積極的に関わった。

①作品出品 作品鑑賞

文化祭で、練習用の刀をもったらすごく重かったです。本物は土曜日しか見られないと聞いて、お母さんともう一度行きました。500年前に作られたと聞いて、びっくりしました。本物は光っていてすごかったです。(2年生)



学区の作品に交じって、子供たちの作品も展示された。



手まわし蓄音機と居合刀



いつまでも風船を見送る参加者たち



②共同イベント企画

「夢を大空へ
バルーンプロジェクト」



バルーンプロジェクトは天気が良く、家の人や学区の人たちと一緒にできてうれしかったです。みんなで飛ばした風船はとてもきれいでした。風船に込めたみんなの願いが、届いてほしいです。(6年生)

③ 運営への積極参加

文化祭の準備から片付けまで多くの保護者が参加した。会場設営など力がある仕事は、PTAの力が役に立った。また、貴重な作品が多いため約30名の保護者が会場係として作品の見守りに携わった。



●手だて3 3世代グランドゴルフ大会への参加 ~世代をこえたつながりを大切にしよう~

学区老人クラブの主催で毎年行われている、祖父母、父母、子供の3世代が集うグランドゴルフ大会。昨年3年ぶりに開催された。はじめは緊張していた子供たちも、温かく声をかけてもらってすぐに慣れ、笑顔で交流する姿が見られた。老人クラブの方々にとっても、楽しい一日となったことだろう。



開会式では緊張して最後尾に整列。

やってみると、思った方向に全然ボールが行かなくて難しかったけれど、周りの方が優しく明るく接してくれて、一緒に楽しくグランドゴルフができました。機会があったら、また参加して、上位をねらいたいです。(6年生)



コースを回るうちに少しずつ打ち解けて、一緒にスコアを確認。

閉会式では、一番前で入賞者に温かい拍手をする姿が。

【成果と課題】

最近の子供たちは、放課後とても忙しく、昔のように地域で遊び、地域で育てられる機会は少なくなっている。さらにコロナの影響で学区の行事も以前のように実施されず、関わりは希薄になっている。今回、PTA活動として子供たちと保護者が地域の行事に積極的に参加したことで、互いに顔と名前を覚え、新たな絆づくりができた。また様々な場面で支えられていることも実感できた。さらに子供たちが楽しんで活動に参加できたことなどが大きな成果と言える。

一方で、本学区には、後期高齢者が児童数の約5倍という実態がある。父母世代のPTAへの期待は大変大きい、人材の面、金銭的な面、伝統や文化を大切にしたいがゆえに自由がきかないなど、活動を共にするにあたっての課題も多い。今後も学校の教育活動と連携させる中で、子供たちがこの学区を好きになり、自分の故郷として愛着がもてるよう、より負担が少なく効率の良い方法を模索しながら、PTA活動を進めていきたいと考えている。